

やえせ

Yaese

8



稲作を通して学びます

食育の実践中心校に指定されている具志頭中学校では、1年生を対象に作物別に3つのコースに分けて総合的な学習の時間を設けています。その中の稲作コースでは、種まきから田作り田植えと一連の作業を通して生徒自らが主体的に判断し、行動できる学習内容となっており、食育指導に加えこれからの社会に生きる資質や能力を育むことを学習のねらいとしています。

今回、大城正盛さん（元具志頭中学校校長）指導のもと田植えに挑戦した生徒達は、初めて入るたんぼに足をとられながらも慎重に稲を植えていました。諸見里真嗣君と安里武志君は、「稲を一定の間隔を保ちながら植えるのは難しかったけどたんぼに足を入れた時、泥の感覚が気持ちよく楽しく田植えを体験できました」と初めて体験した田植えに満足している様子でした。